

本庄南ロータリークラブ

会報

例会日 毎火曜日 19:00~ 20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004 本庄市駅南 2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明



第 694 回例会

8月 19日 (火)

発行 平成 20年 8月 29日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19時 00分 矢部一臣会長
 ソング / 我らの生業
 ゲスト / 早稲田大学大学院 国際情報通信研究科博士後期課程 松本研究室
 アローム・モハマド・シャー
 テーマ 「Bangladesh」

会長挨拶

矢部一臣 会長



ロータリーに「歌唱」を導入した人。

ハリー・ラグルス
 (Harry Raggles 1871~ 1959)

皆さん、今晩は。

北京オリンピックで私が最も楽しみにしていたのが、女子マラソンの野口選手の活躍です。

しかし、残念ながら、足の故障による欠場が発表されました。アテネオリンピックの金メダルを獲得後 4 年間、今回のオリンピックへの出場、メダル獲得を目指して周りの応援してくれる人達のためと並々ならぬ努力をしてきた彼女の無念さが心が痛みます。

今日の例会は、早稲田大学大学院 国際情報通信研究科のアローム・モハマド・シャー様から、バングラデシュをテーマに卓話を頂きます。

今年度の R I 会長李東建氏は、「夢をかたちに」をテーマに「子供たち」に光を当てて頂きたい、と、言われています。バングラデシュという国、その「子供たち」の状況をの一端を理解して、今後の活動の方向性を模索したいと思います。

さて、本日のロータリー情報は、ロータリーに「歌唱」を導入した人、ハリー・ラグルス (Harry Raggles) です。

ハリー・ラグルスは、ロータリアンをつなぐ結合剤、ロータリー・ソングの提供者です。アメリカ・ミシガン半島の農場出身で「一見、無愛想な」印刷業者の彼は、ポール・ハリスの紹介で 1905 年シカゴ R C に入会。最初の 4 人に続く 5 番目の会員とし

ても著名です。

彼は歌うことが大好きでした。ロータリーが創立して、それほど経ていないある日の例会で「どうだい、みんな歌おうじゃないか」彼のひと声、そして彼の指揮、1910 年ころには歌曲集も作成しています。

初めてのコーラス

シカゴロータリークラブ (R C) の会員になったハリーは、ポール・ハリスの評によると一見無愛想で、クラブ入会の紹介時には「果たしてクラブに入って、ロータリーの友好を実現できるだろうか」と内心危ぶまれたほどの人だったようです。実はハリーはもともと歌うことが大好きな人でした。

もっとも、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたので、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。

産声を上げたばかり、1905 年のロータリークラブの、ある秋の日の夜の例会について『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』(P 30)には、以下のように記されています。

「1905 年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグルスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった」

これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。しかし、このとき歌われたのは、いわゆるロータリー・ソングではなく、当時の流行歌でした。

いつもコーラス

さて、ロータリー誕生後2年目には、ささいな意見の相違がだんだん大きくなり、シカゴクラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起こったようです。

そこで、当時シカゴRCの幹事であったウィル R. ネット医師が、ハリー・ラグルスと協議しました。「これがもう1か月も続けば、クラブは解散してしまうだろう」とネットは悲しそうにハリーに言い、続けて「私は、君が毎週立ち上がって楽しく歌うことにしたらどうか、と思う」と言った、というような記録が残っていると、笹部誠パストガバナー（1964 - 65年度・川崎RC）が『友』誌（初載は1971年4月号、2002年9月号に転載）に記述しています。

その結果、ハリーの指揮による歌声が、毎回クラブの例会で響くようになり、いつのまにかクラブの中の雰囲気は改善され、シカゴRCは解散の危機を脱していたそうです。歌が、人々の心を結んだのです。

その後、ハリーの指揮は恒例のものとなりました。再び『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』（P 30）から引用します。

「今日でも、シカゴ・ロータリー・クラブの古参会員から話を聞くことができる。会長が開会の辞を述べると、シャーマン・ホテルの大広間が真っ暗になる。すると暗闇を突き抜けて体のスポットライトが西側バルコニーの痩せた男に当たる。部屋中が期待に息を呑む中で、ハリー・ラグルスが両手を上げて叫ぶ：「さあ、みんな、歌おう！」そして皆が歌い出すのだ、と。ハリーは所属クラブでも、全米の地区大会でも、国際大会でも歌の音頭を取った。しかし、1959年10月23日、卓話者として招かれたカリフォルニア州カシードラル・シティ・ロータリー・クラブの例会に向かう途中で心臓発作を起こし、5年間にわたりロータリーに歌と太陽をもたらしたその声をもはや聞くことはできなくなった」

世にコーラスの風潮はあふれていても、例会という集いの中で定期的に歌を歌うことを、積極的に続ける形式は、当時新鮮なものでした。深い意識はなかったかもしれませんが、シカゴロータリークラブのハリー・ラグルスの行為は、歌という親睦に偉大な効果を発揮する、微妙な結合剤をロータリーに提供したことになりました。

また、歌われる歌曲もだんだん決まってきたので、印刷業のハリー・ラグルスは、1910年にはロータリー・ソングブックの第1号の出版もしています。以後それは版を重ね、ロータリアン間に普及していきました。

日本では

日本最初のロータリークラブは、1920年創立の東京ロータリークラブですが、初めのころは「ロータリー・ソング」として英語のまま歌っていたそうです。

当初はアメリカ人会員 E. D. パートンが会員に歌を歌わせようとして指導したものの、皆「児戯に類

する……」としてあまり乗り気でなかったようです。彼は、日本におけるソングリーダーの草分け的存在でしたが、その努力は1926年ころになってようやく認められ、1927年のインターシティ・ミーティングのときには、会議中にも会議後の観光バスの中でも、会員の家族が中心となってロータリー・ソングが歌われ、会員もやっと、歌うことが親睦の源であると理解した、と東京RCの記録にあります。家族は、日本のロータリーに歌うことを押し進める大きな力となりました。

やがて、日本語によるロータリー・ソングを求める声が高まり、「奉仕の理想」や「我等の生業」が1935（昭和10）年、京都における地区大会において、日本語ロータリー・ソング入選作として発表されました。戦争中は、「君が代」の斉唱が始まりました。1949年、日本は国際ロータリーに復帰しますが、1951年にロータリー・ソングが募集され、「手に手つないで」がつくられました。これは、1952（昭和27）年7月から、日本のロータリーが2つの地区に分かれるという事態に当たり、これからも友情を確かめ合い、手に手つないでいこう、と誓い合った歌です。「それでこそロータリー」も古く、1951年に誕生しています。

こうして、ロータリーの例会では歌を歌うことが習慣となり、この習慣はアメリカの多くのクラブに波及し、今日では、オーストラリア、日本、ナイジェリア、ニュージーランド、カナダなどのさまざまな国のロータリー例会におけるポピュラーな親睦行事となっています。

国際協議会でも、毎朝、本会議が始まる前に各国で親しまれている歌を皆で歌います。しかし、ヨーロッパ、南米、アジアのロータリークラブの例会でロータリー・ソングが歌われることはあまりないようです。

歌い方もいろいろで、例会の初めに国歌を歌うクラブもあれば、童謡を必ず歌うところもみられます。

皆さまのクラブではいかがですか？ クラブ独自の歌を作り、歌っているところもあります。

（「ロータリージャパン」から。参考文献 デイビッド C.フォワード/日本語訳監修 菅野多利雄『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』2003年、クリフ・ダクターマン『ロータリーのいろは』1992年、『改訂ロータリアン必携』2004年、など国際ロータリー発行の公式文献類、東京ロータリークラブ『東京ロータリークラブ50年のあゆみ』1970年、『ロータリーの友』、『The Rotarian』の各誌など。）

幹事報告

星野栄一 幹事



平成20年10月19日(日)、本庄を楽しく発展させる会「紡」主催の第8回チャリティコンサート 坂田明ジャズコンサートには、当本庄南RCも後援しています。皆様のご来場、お協力の程、お願いします。

委員会報告



奈良橋 秋夫
米山カウンセラー

去る8月13日～14日の2日間、米山奨学生及び学友生と地区役員会・カウンセラーの秩父音頭まつりに参加してきました。参加人数は約40名でした。

参加に先駆けて皆野町の金子先生の道場で地元の先生から秩父音頭の指導を約2時間受けました。本番は皆野町内を皆野町役場まで踊りながら行列し役場の広場で秩父音頭を踊り審査され参加83チームで競技を競いました。結果は特別賞を受賞しました。夜は町内のゴルフ場で奨学生達と交流しました。

卓 話



卓話講師
早稲田大学大学院
国際情報通信研究科
博士後期課程 松本研究室
アローム・モハマド・シャー
テーマ 「Bangladesh」

バングラデシュ（旧東パキスタン）は、南アジアにあるイスラム教徒主体の国である。首都はダッカ。インドの東側に位置し、インド洋に面する。ベンガル湾に注ぐ大河ガンジス川を有する。国境のほとんどをインドに接するが、一部ミャンマーと接している。

面積、14.7万平方キロ、人口1億5千万人、水面積率7%、シンガポールやバーレーンなどの面積の小さい国を除くと世界でもっとも人口密度の高い国である。1kmあたりの人口は1045人になり、しばしばインドネシアのジャワ島と比較される。人口爆発が社会問題となっているため、政府は1992年より、産児制限による人口調節を推進して人口の増加を抑えようとしており、一定の成果を挙げつつあるが、いまだ解決には至っていない。人口と人口密度の両方で日本のそれを上回っている国は、現在のところバングラデシュだけであり、いくつかの予測では、2050年の人口は2億5千万人に達する見込みである。宗教は、イスラム教が83%、ヒンドゥー教が16%、その他が1%である。その他の宗教には仏教、キリスト教、無神論が含まれる。

バングラデシュ国内には、ユネスコの世界遺産リストに登録された文化遺産が2件（シュンドルボン、バゲルハードのモスク都市）、自然遺産が1件（パハールプールの仏教寺院遺跡群）ある。シュンドルボンはインドとバングラデシュ南西部に渡るマングローブ林の湿地域で、バングラデシュがその3分の2を占める。ベンガルトラをはじめ稀少生物種が生息し、自然環境を保護するため、人間の居住は禁止されている。

国連児童基金（UNICEF）発行の『世界子ども白書2005年版』によるとバングラデシュの児童労働率は（5歳から14歳）8%（男10%、女5%）で、およそ280万人と推定している。しかし、国際労働機関（ILO）の調査（1995年推計）では児童労働の数はさらに多く10歳から14歳で全児童の30%、430万人が働いている。これはアジアで4番目に高い比率となっている。さらに、児童労働の防止のためには、政府による出生登録が重要となるが、1999年～2003年に出生登録された子どもは、都市部で9%、農村部では7%、全体で7%しかなく、年齢を判断するデータが非常に乏しい。

続いて、教育に関するデータは、世界銀行2003年版の調査からみても。男女を合わせた初等教育総就学率は1990-91では77%から2000年には97%に上昇し、2015年の目標値をほぼクリアしている。しかし初等教育卒業率は、改善は進んでいるものの67%にすぎず、目標の100%にはほど遠い。同様に女子の初等教育就学率も97%にまで達しているが女性の識字率は2000年に40.1%であって、まだまだ不十分である。児童労働の背景には、低賃金労働を求める雇用者側の問題と同時に、こうした劣悪な労働にわが子を送り出す家庭の貧困問題があることを私たちはよく理解することが必要である。それゆえ「子どもを雇用しないこと」だけでは児童労働問題に解決にはならない。開発途上国が貧困から脱するための保健・教育そして地域レベルでの雇用機会の創出などの支援が大切である。

国民の大多数は土地を所有せず、あるいは洪水の危険が高い低湿地にすんでおり、衛生状態はきわめて悪い。このため、水を媒介として、コレラや赤痢などの流行がたびたび発生している。こうした状況を改善するため、国際機関が活動を行っている。特に飲用水の衛生状態の改善のため、井戸の整備を独立後に進めてきたが、多くの井戸が元来地層中に存在したヒ素に高濃度に汚染され、新たな問題となっている。多くのヒ素中毒患者が発生しており、人口の4分の1以上がヒ素中毒やヒ素による発がんの危険にさらされていると考えられている。

出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	9名	5名	8名	63.63%

例会予定

プログラム通り